

# お年は二つなのですか...

2歳の子どもたちは、「二つ返事」というわけには、いかないようです。

- お弁当をきれいに食べられたFちゃんに、「いやあ、お片付けはうね」と言くと、にやと笑みを浮かべて立ち上がり、隣の部屋へ行こうとします。保育者が手をおかして、「お片付けしないと遊ばないよ。」と言っても、別の保育者が「お片付けしないならFちゃんのお弁当箱もらっちゃおっかなあ...。」と言っちらんぷり。食事が終わると、進んで片付け始めるFちゃんなので、いつもは...。
- 外遊びから帰ってきて、玄関で靴を脱ぎ、リュックを下ろしたGくん。「リュック持っていないね」と、保育者にリュックを差し出されると、にやにやしてしん顔。
- 保育者が、「帰る支度しようね。」と言うと否々。Hくんは必ず、畳の部屋へ逃げていきます。これもまた、うれしそうに笑いはから...。

FちゃんもGくんもHくんも、そろって笑顔。分かっているけれど、そう言われると嫌なんじゃないねえ...と言わんばかりの態度です。

- Iちゃんは、みんなが集まって絵本を見る時に、絵本を自分のひざの上で開いていたのが、片付けるように言うと、あつした顔で、「せんせい、やだ。」とぼそっと言い、更に「ハエーっ」とあかんべをしました。そうしなからIちゃんは絵本を片付けに行きました。

歩いている時、公園で、等いろいろな場面で、このような姿が現れます。これが「自分が決めた2歳」の姿なのだなあと思えます。最終的には、どの子もやるにはやるのですか。素直にすぐにやるのは嫌なのでしょうね。時間(心)にゆとりがないと、これに付き合うことはできません。ご家庭ではどうでしょうか。何でもやらせてあげたいと生きていかねばならぬ赤ちゃんが、「言われるまま、されるままにはならないよ!!」という気持ちをもつようになるなんて、成長なのですよ。

# 3歳なりに どうにか、なんとか、やっています...

保育者が一緒に遊んでいただけ、2、3人の子どもだけで遊ぶ姿が見られるようになってきました。(ほんの短い時間だったり、長い時間だったり、保育者が傍で見守っていたり、様子は様々なので)。仮面ライダーになりきっている男の子に、プリキアになりきっている女の子2、3人が参戦したり、ブランコや犬の形の乗り物を交代しながら一緒に楽しんだり。ある日は、3人の子どもたちが、「ジュース作り!」と言って、ビニール袋に砂とたくさん詰めて、「だれかたすけて〜!」とか「OOがたすけてあげるー。」と言いつつあなかなかうまくいかず、長い時間かけてとうとう3人が持ちあげて運んだということもありました。大人が教えて、声も手も出さずにいると、子ども同士でどうにかコミュニケーションをとるようになってきたのです。言葉が達者になってきて、十分とは言えないまでも、自分なりに使う3歳の姿だなあと思えます。

# 3歳の、かくれんぼ

「もういいかい?」と尋ねておきながら「もういいよ。」と叫んだり、「もういいよ。」と言ったのに探しに行くと保育者の顔を見て「みつけた!」と喜んで、役割がぐちゃぐちゃだった「かくれんぼ」。隠れていたのに、わざわざ出ていって「みつけた!」と言われて大喜びの子もたくさんいましたね。ところが、ついでにあいた3月14日、たけのこ公園でかくれんぼをした時には、見事に探す役と隠れる役が成立したかくれんぼでした。探す役になった時には、10まで数えて、「もういいかい?」と尋ね、「もういいよ。」の返事を聞いて探しに行き、「みつけた!」と言った後には「たつね、先生の帽子が見えてたんだ!」という言葉まで出てきました。交代して隠れる役になると、決して自分から出ていくことはせず、静かに息をひそめていました。年齢(時期)によって、同じ遊びでも、楽しいと感じることが違っていることが分かります。2歳の頃は「うないないばー」の延長のようなかくれんぼ、3歳後半になると見つからないように隠れることやそれを探すことがおもしろくなるのですね。2歳の子どもたちには、まだまだ、ぐちゃぐちゃのかくれんぼを楽しんでほしいと思います。

# 避難訓練

もしもの時に備えて月1回行っています。

2月の最後の日、たけのこ公園で遊んでいる最中に行きました。この日は3歳の子だけでした。事前に、笛が鳴ったら保育者のところに集まるように話しておき、実際にやってみると、遊びに夢中で、笛の音や保育者の声も届かなくなったり、遊びに使っていた物が気にならなくなってすぐに集まらなかった子もいました。それでも、概ね、保育者の指示を理解して行動することができたように思います。